

【協 議】

生活指導の充実に向けて

令和6年（2024年）12月26日（木）15:10～16:20

北海道立特別支援教育センター

研究員（聴覚・言語障がい教育室）宮 町 悦 信

本コースの目的

幼児児童生徒の理解や自立と社会参加に向けた生活指導の実践的な指導力を身に付ける。



本協議の目標

自立と社会参加に向けて、生活指導を充実させるための方策を探る。

事前に記入した協議シートを活用した協議

2

1 協議の進め方

3

(1) 協議の進め方

【説明】 協議の進め方について（5分）



【協議】 グループごとに協議（55分）
義務併設／高等支援グループ



【交流】 協議内容の交流（7分）



【全体】 まとめ（3分）

4

(2) 協議の内容

目 標

将来の自立と社会参加に向けて、生活指導を充実させるための方策を探る

協議の柱

自立と社会参加に向けた指導支援の工夫・改善

内 容

自身や自校における生活指導の課題についての協議

5

(3) 協議の流れ（55分）

協議 <50分> *3人グループの場合

- ① 自己紹介、役割（司会、タイムキーパー、発表者）を決める。（5分）
 - ② 協議シートの内容を踏まえ、一人ずつ発表する。（5分）
 - ③ 発表者に対して、ほかの受講者から助言を受ける。（10分）
- *②と③を3回繰り返す。

個人で振り返り <5分>

- ④ ほかの受講者から受けた助言などを整理する。
- ⑤ 今後、自校で取り組みたいことの記入する。

6

○ 協議の進行

令和6 協議シート

協議の柱：自立と社会参加へ向けた指導や支援の工夫・改善について

自身や自校の生活指導に関する現状及び課題（約5校における取組や協議したいこと）

発表者	現状及び課題	他校の取組で参考になったこと、質疑や提案したいこと
所属 (氏 名)		
所属 (氏 名)		
所属 (氏 名)		

ほかの受講者からの助言など

今後、自校で取り組みたいこと

①自己紹介・役割の確認

<例> 1回目 2回目 3回目
A先生 司会 発表者 タイムキーパー
B先生 タイムキーパー 司会 発表者
C先生 発表者 タイムキーパー 司会

②現状と課題の共有 *発表内容をメモする

③発表者の課題に対する助言 や参考になったことなどを記録

④自分の発表に対する受講 者からの助言などをメモ

7

2 協議

8

協議の進め方（時間配分）＊3人グループの場合

15:15～15:20	①自己紹介、役割分担・確認	
15:20～15:25	②現状と課題の交流	1人目
15:25～15:35	③協議	
15:35～15:40	②現状と課題の交流	
15:40～15:50	③協議	2人目
15:50～15:55	②現状と課題の交流	
15:55～16:05	③協議	3人目
16:05～16:10	個人思考（振り返り）	
16:10～16:17	今後に向けた取組の交流	

9

協議の進め方（時間配分）＊4人グループの場合

15:15～15:19	①自己紹介、役割分担・確認	
15:19～15:21	②現状と課題の交流	1人目
15:21～15:30	③協議	
15:30～15:33	②現状と課題の交流	2人目
15:33～15:42	③協議	
15:42～15:44	②現状と課題の交流	3人目
15:44～15:53	③協議	
15:53～15:56	②現状と課題の交流	4人目
15:56～16:05	③協議	
16:05～16:10	個人思考（振り返り）	
16:10～16:17	今後に向けた取組の交流	

＊時間の目安は、②2分30秒 ③9分

10

【遠隔】ブレイクアウトルーム機能の活用

- ・Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用して、3人～4人グループで協議を行います。
- ・16:05になると全体のミーティングに戻ります。グループ内で時間を確認しながら進めてください。
- ・協議の内容や進め方などで困ったときには、ヘルプ通知をしてください。当センター所員が入室します。



1

○ 個人思考（5分）

令和6年度（2024年度）新卒者指導員コース「生活指導の充実に向けて」

協議シート

協議の柱：自立と社会参加へ向けた指導や支援の工夫・改善について

自身や自校の生活指導に関する現状及び課題（勤務校における取組や協議したいこと）

	現状及び課題	他校の取組で参考になったこと、質問や提案したいこと
所属 (氏 名)		
所属 (氏 名)		
所属 (氏 名)		
ほかの受講者からの助言など		今後、自校で取り組みたいこと

発表者の課題に対する助言
や参考になったことを踏まえ、
今後、自校で取り組みたいこと
を記入し、発表準備をする。

12

3 今後に向けた取組の交流

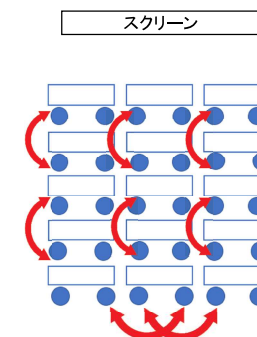
13

今後に向けた取組の共有（5分）

- ランダムでペアになった相手と、協議した内容の交流

＜交流する内容＞
（1人2分程度）

- ①学校名、氏名
- ②参考になったこと
- 今後、自校で取り組みたいこと



14

4 まとめ

15

まとめ

- 舎生の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、生活年齢や発達の状況等に応じて、社会に適応する力が高まるように指導や支援を行うこと
- 舎生への切れ目なく一貫した指導や支援が行えるよう、個別の教育支援計画等を活用しながら、教務と舎務が日常的に連携・協力すること
- 特センの研修を利用するほか、「寄宿舍指導研修マニュアル」を活用して舎内研修の充実を図ること

16